

## アタッチメント理論を基盤とした家族療法

Bowlby によって提唱されたアタッチメント理論は、乳幼児研究から開始されましたが、近年、思春期・青年期、老年期に至るまで膨大な研究が積み上がり、アタッチメントが私たちの対人関係を説明する重要な枠組みであることをわかってきています。

アタッチメントスタイルは、家族内の親密な関係の中で育まれることから、とりわけ家族療法となじみやすく、アタッチメント理論を基盤とした家族療法がいくつか出てきています。そこでは、不登校・ひきこもり、非行などの子どもの問題の背景には、アタッチメントの傷つきがあると捉えます。また、夫婦間のトラブルに関してもお互いのアタッチメント・ニーズを満たすことが解決の糸口になると考えられています。安定したアタッチメントを構築することは臨床的介入において重要なテーマと言えるでしょう。

本研修会では、Bowlby の定義に基づき、アタッチメントの定義、アタッチメントの分類、アタッチメントの発達について解説します。その後、アタッチメント理論を基盤とした家族療法をご紹介します、介入方法について仮想事例を通して検討します。

子どもの問題、カップル関係の支援に関わっている方、あるいは、関心をお持ちの方の参加をお待ちしています。

### 記

**講師**：北島歩美（日本女子大学カウンセリングセンター）

**日時**：【A.ライブ配信+録画視聴】2024年9月8日（日）10:00～16:00（昼食1時間）  
【B.録画視聴のみ】2024年9月24日（火）15:00～10月29日（火）15:00

**定員**：【A.ライブ配信+録画視聴】100名  
【B.録画視聴のみ】は人数制限無し

**内容**：(1) アタッチメント理論の紹介  
(2) アタッチメントの分類と発達について  
(3) アタッチメント理論を基盤とした家族療法の紹介  
(4) 仮想事例を通して介入方法の検討

**申込期間**：【A.ライブ配信+録画視聴】2024年7月8日（月）0:00～9月2日（月）23:55 締め切り  
【B.録画視聴のみ】2024年7月8日（月）0:00～9月23日（月）23:55 締め切り

**参加区分と参加費**：【A.ライブ配信+録画視聴】と【B.録画視聴のみ】は同一料金です。

- ① 日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000円
- ② 学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000円
- ③ 一般参加者：10,000円

### 研修ポイント

- \* 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2ポイント
- \* 臨床心理士；2ポイント（申請予定）
- \* 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。